わだち 轍

Vol 14

轍【わだち】

車が通ったあとに残る輪の跡という意味から、「先人たちが築いてきたものを大切にしながら、未来へとつないでいく」という思いを込めてつけました。

発　行：社会福祉法人 高知県知的障害者育成会　〒780-0028 高知県南国市陣山字弥市531-1　TEL088-855-3717　FAX088-855-6181
発行責任者：秋友英稔（社会福祉法人 高知県知的障害者育成会）　編集責任者：濵田明（社会福祉法人 高知県知的障害者育成会）
印　刷：社会福祉法人 すずめ共同作業所

カテゴリーの見方

- Topics／最新の出来事
- People／障害者の暮らしぶりを紹介
- Work／福祉で頑張る人たち
- Art／障害者の光る感性
- Message／支援者からのメッセージ
- Report／取り組み報告

Message 理事長あいさつ

私は、6月より福永康夫前理事長の勇退に伴い、後任として理事長に就任しました秋友英稔（あきとも　ひでとし）と申します。

平成から令和へ新たに出発した年に、わが子の幸を願い、高知県の知的障害者福祉向上のリーダー格として福祉の先駆的な活動に取り組み、多くの事業所を立ち上げ運営している組織の長となる事の重責に、身の引き締まる思いです。

親の会活動においては、先人達の思い、願いを胸に置き、新しい時代の障害者福祉を模索していくために、障害者総合支援法によるサービス体系をより深く理解し、地域共生社会実現に向けた取り組みをしていかなければなりません。今一度親の会の原点に戻り、活動団体として福祉の向上に向けた運動を進めてまいりたいと思います。よろしくお願いします。

高知県知的障害者育成会は、多くの事業所を運営しています。その中で社会福祉法人として「地域社会における福祉の充実、発展」に寄与することを使命として、社会福祉事業の安定的、継続的経営に努めてまいります。

その運営の基本方針として、①利用者の人権の尊重　②サービスの質の向上（ひとりひとりの幸せ、より良い生き方の為の支援）　③地域に根差した活動　④生活環境、利用環境の向上　⑤人材育成　を掲げています。社会福祉法人としての公共的、公益的運営を行う事を念頭に、育成会職員一同邁進してまいります。障害のある人もない人も、ひとりひとりの人格と個性を尊重し合う共生社会実現を目指していきましょう。

理事長　秋友英稔

Topics 輝く個性!!　パワーズ山田

パワーズ山田は、得意な事を活かし、想いや希望を表現する事を応援しながら、一人ひとりの個性が輝く笑顔の絶えない活動を行っています。

園芸は、季節の野菜や花を栽培し、近くのスーパーなどで販売しています。それぞれが得意な作業をして、暑い季節も寒い季節も畑で頑張っています。収穫時期にはコンテナいっぱいの野菜を抱え、笑顔で自慢げに見せてくれます。

軽作業は、缶や古紙の回収・仕分け・トイレットペーパーの宅配を行っています。作業場ではアルミやスチールなどの仕分けをする方や、ペアを組んで缶潰しをする方がいます。

回収や宅配は馴染みのお客さんと顔を合わせるのを楽しみに出掛け、挨拶や身だしなみを意識する機会となっています。

創作活動は、アートや書道の講師からアドバイスを受け、一人ひとりの「やりたい事」を見つける為の色々な提案をしています。自分の世界をしっかり確立され、物凄い集中力で毎日絵を描いている方がいます。創作の楽しさが、キラキラした笑顔から伝わって来ます。

全員で取り組む日課として、「自分でできる事はしたい」「いつまでも元気でいたい」「もう少し痩せたい」など様々な希望により、歩行とリハビリを取り入れています。歩行中には季節の草花を眺めたり、地域の方との交流を楽しんでいます。

できる事があり、やりたい気持ちを持ち続け、熱中できる事があるという事は、人を輝かせ、生きる力を与えてくれるものだと強く感じます。これからも、利用者さんの輝く笑顔をたくさん見つけていきます。

パワーズ山田　大塚明世

Topics

7度目の挑戦

地域活動支援センター「南国」は南国市在住の、障害を持った方が気軽に利用できる事業所です。日中の居場所づくりと、障害のある方が地域生活の中で生活をしていくための支援をしています。創作活動（手芸・工作・書道など）、調理（料理教室・おかし作り）、運動（ラジオ体操・散歩・体操教室など）、娯楽（DVD鑑賞・カラオケ）、外出（イオン・動物園）、行事（スピリットアート展・刃物まつり・スポーツ大会・ボランティアDAY）、勉強会や地域清掃などが主な活動内容です。

10月に香美市の鏡野公園で開催される刃物まつりの「かかしコンテスト」には毎年出展しています。かかしの作成はみんなが楽しみにしている活動で、多くの利用者さんが参加して仕上げます。創作活動で培った技術のみせどころです。皆さん集中して黙々と作業に取り組みます。また、気分転換や、それぞれの楽しみを見つける機会にもなっています。みんなと一緒に作業を行う事で人との交流ができ、コミュニケーション能力や協調性を身につけることもできる、大切な活動です。

今回で出展7回目。目標である入賞を目指して昨年度からみんなで「何のかかしを作ろうか」と話し合ってきました。構想から制作・完成まで1年かけた作品のタイトルは「西遊記」。残念ながら上位入賞はできませんでしたが、特別賞の「さくらベーカリー賞」と「独歩堂賞」を頂きました。

地域活動支援センター「南国」　森國清香

Topics

やすらぎの空間

地域活動支援センター「香美」の開所は9時、朝の体操から和やかに始まります。日々の活動としては、作業体験、ガーデニング、習字、手芸、スポーツなどに取り組んでいます。利用される方は定期的に来所されたり、本人の都合に合わせ仕事の休日に来られる方、忘れた頃にフラッと……といった感じです。気軽にご利用いただけます。

スタッフの目標は、利用される方に「今日は来て良かった」と笑顔で帰っていただくことです。気分転換が図れるようスケジュールに合わせそれぞれの方に寄り添う事を心掛けています。普通の活動以外にも、カラオケやクッキングといったイベントを毎月開催しています。それらを実施する際には「楽しむ」という事を目的にしながら、「自分たちでやってみる」という視点も大切にしています。

クッキングでは、実生活でも役に立つように作りたいメニューを皆で話し合って決めています。スーパーで待ち合わせをして一緒に食材を購入し、プラザ八王子の一室を借りて調理しています。

10月は、ロールパンを使ってミニハンバーガーを作り、隣の八王子宮に移動してランチをしました。「簡単やき、家でも作ってみたい」「自分たちで作って、外で食べると美味しいね」と好評でした。

支援センターは、これからもいろいろな活動を提供し、利用されるみなさんに寄り添っていきます。これからも「ほっと安心」できる場所、仲間と一緒に「楽しめる」場所、作業を通して「やりがい」を感じる場所でありたいと思います。

地域活動支援センター「香美」　東山早樹子

Report

第18回 高知県知的障害者育成会職員研修報告

令和元年11月9日(土)第18回高知県知的障害者育成会職員研修会が開催されました。今回の研修会では「生きがいと心の豊かさを求めて」をテーマに、福祉職員として人生を支えていくこと、また私たち自身の生き方を考えて行くことに焦点を当てることにしました。

午前は就労継続支援A型事業所SORAにてサービス管理責任者を務めている柴田国博による発表。午後は一般社団法人エンジェルガーデン南国･アフロディア事業部ゼネラルマネージャー西川きよ氏と、コーチングオフィス熱気球コーアクティブコーチ伊藤英子氏による講演を拝聴しました。

職員発表は柴田サービス管理責任者より「夢に向かって」～お客様の笑顔を求めて～というテーマでSORAのあゆみについての内容でした。3年前に従来の下請け中心の仕事から、事業改革し、自分たちで食品を製造していく事にしました。「おいしくて、栄養があって、安全な食事を作る」ということを目標に、一から立ち上げていきました。「食」という社員にとっても職員にとっても常に興味関心のあるものを、自分たちの手で作りたいという思いからのスタートだった為、「やらされている仕事」から「やりたいと思える仕事」へと働き方が変化していきました。

しかし、職員全員が食品製造について素人同然です。職員の専門的知識習得のための研修や、専門家からのアドバイス、環境整備と課題が山積みでした。これを乗り越えられたのは、社員と職員が食品製造という「やりたい仕事をしている」「やりがいを感じて仕事をしている」という思いからくる「中から湧き出てくる力」や「仕事をすることの楽しさ」であった、という発表でした。

「やりたい」仕事は人を成長させ、生きがいを持って取り組むことができます。今回の発表を聞き、私も「やりたい」と思える仕事を行いながら、利用者が一人でも幸せに楽しく過ごしていくことができるよう支援に取り組んでいきたいと感じました。

ライフサポート「山田」　高村里奈

わだち報　2020年（令和2年）2月28日｜Vol.14

講演の最初は、一般社団法人エンジェルガーデン南国アフロディア事業部ゼネラルマネージャーの西川きよ氏に「感謝の心で醸し合う人が生きる経営」と題してお話ししていただきました。

西川きよ氏

西川氏はご自身が化学物質過敏症であったことから、化学物質不使用の化粧品メーカー「アフロディア」を創業されました。当初は利益の追求が最優先でしたが、「地域に貢献できることを大切にしよう」という考えから、売り手よし･買い手よし･世間よしへと、経営の方針を転換しました。

そんな中「化粧品という外からの物質だけに頼るだけではなく、体の内側からも健康で美しくなれる物が何か無いだろうか」と探していた時に出会ったのがグァバでした。そして有機JAS認証の自家農園「一般社団法人エンジェルガーデン南国･南国にしがわ農園（就労継続支援事業B型）」を開所しました。自然豊かな環境の中でグァバ栽培を中心に、土作り種選びから卸･販売まで取り組みました。目指すのは障害者と健常者が共に働き、お互いが成長していく場所を作ることです。利用者の能力や興味に合わせた人間尊重の経営を行い、多種多様な仕事内容を分担しています。障害者の方が働くことの幸せを感じながら、環境に優しい農法で、高品質なものづくりを通じて人々の健康に寄与するために日々活動を続けている、というお話でした。

次の講演は、コーチングオフィス熱気球コーアクティブコーチ伊藤英子氏に「死亡率100%を楽しく生き抜く」と題してお話ししていただきました。インパクトのある題名に興味津々で拝聴しました。

伊藤氏は近森病院に入職し、その後福祉医療の分野で様々な業務に関わりながら2012年オフィス熱気球を立ち上げられました。すべての人が人生を楽しみ、自分らしく生きられる世界になることを願い、多岐にわたって活動されています。全身の筋肉が萎縮する脊髄性筋萎縮症を発症され、病状が進行する中、新たな視座を得、多くの講演やワークショップを開催されるなど、当事者として発信されています。

最初病名を告げられたときに「今まで必死に仕事をして来たつもりであったが、果たしてそうだろうか。むしろ傲慢ではなかったのか」という思いに駆られ、それ以降は「自分にしかできない仕事とは何だろう」と日々自問自答している、との事でした。

「大切なことは、一人ひとりみんなが自分の人生を自分のものにとりもどし、本当に尊重される世の中になることである。人はみんな死ぬ、それなら死ぬまでHAPPYで生きよう。一人ひとりが自分の人生の主役だから、最後までその人らしく暮せる社会を実現しよう」というお話で、このことを願い活動することが伊藤氏のライフワークになっているという事です。

伊藤英子氏

お二人の話を拝聴し共通して感じた事は、人間尊重でした。様々な考え方の人と関わり、認めていくことで自分自身の思いが整理できて、視野を広めることもできると思います。今後仕事を続けていく上で、基礎となる事柄を学ぶことができた意義深い研修になりました。

ライフサポート「かがみの」　小森竜宏

Topics 「第24回 ふれあいくろしお祭り」

令和元年11月16日（土）、晴天のもと「第24回ふれあいくろしお祭り」が開催されました。

この祭りは「地域に広げよう福祉の輪」をテーマに掲げ、「香南くろしお園」「第2香南くろしお園」の活動を地域に知っていただくと同時に交流を図っていくことを目的としています。

祭りの企画にあたっては、運営委員を中心に、何度も話し合いを重ねました。また、企業への協賛依頼や広報活動等、職員各々に役割分担を行い祭りの成功に向け様々な準備を進めていきました。

飛び入りの指揮者!

企画の中で運営委員が一番大切にしたことは、「メインステージでのイベント」です。何故なら、障害のある人と地域の方々が、イベントを通じて同じ空間で一緒に楽しむことが、一番の交流の場になると考えたからです。

今年は、「香我美中学校吹奏楽部」「BBLダンススタジオ」「ヒューマンビートボクサーKE☆Nさん」の3団体をお招きしました。間近で体験するとどれも迫力があり、洗練されたパフォーマンスを目のあたりにし、踊り出す利用者やステージに上がりライブに参加する芸達者な子供たちも表れるほど大盛況でした。

フィナーレを飾る恒例の「大ビンゴ大会」では、次々に人が集まり会場が大勢の方の熱気に包まれました。今年の一等は国産和牛肉1.6kg!!　期待値も上がります。次々に読み上げられる数字に真剣な表情で耳を澄ませる中、「ビンゴ!!」と声高らかにステージに向かう参加者の皆さん。ビンゴ者が重なった時には順位を決めるために、ステージ上でジャンケン大会となり、そこでは利用者も地域の方も共に悔しがったり喜んだりする姿が見られました。イベントといった「掛け橋」を通じて障害のあるなしに関わらず一体となり、楽しみを共有できて、企画の段階から大切にしていた「交流の場」になった事を実感しました。

ビンゴで商品をゲット!

ヒューマンビートボクサーのKE☆Nさん

こうして毎年、祭りを開催できるのは地域住民の理解とボランティア、保護者、共催団体、協賛各社の温かい支援と協力の賜物と深く感謝申し上げます。

第25回では、さらなるイベントの充実と地域に向けた宣伝活動、出店ブース拡大など試行錯誤を重ねながら、地域に根付いた祭りになるよう努力して参ります。ご期待ください。

香南くろしお園　　小松祐也

ご意見・ご感想

機関紙「わだち 轍」に関するご意見・ご感想などございましたら、下記連絡先までお寄せください。
いただいた貴重なご意見を今後の機関紙づくりの参考とさせていただきたいと思います。

社会福祉法人 高知県知的障害者育成会
TEL 088-855-3717
FAX 088-855-6181